

2023_1222「タケの子房にいた謎の虫（動画）」日々の理科 3424 号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

先日の 10 月下旬、お茶の水女子大学構内にある子ども園の裏庭に「タケの花」が咲きました。タケの花はおよそ 120 年に一度にしか咲かないとも言われる、非常に珍しいものです。私はその後「タケの実」が見られると思い、先日もう一度見せてもらいました。

驚いたことに、タケの花はまだ咲き続けていましたが、花のあとに実らしき茶色いものもたくさん見られました。私はそれを研究室に持ち帰って、顕微鏡で観察してみました。実はまだ未熟でしたが、根元には明らかに「子房」と思われるふくらみが見られました。

私はその胚乳を顕微鏡で観察して、仰天しました。半透明の、何かの幼虫のような虫が子房の表面にたくさん動いていたのです。たまたま観察した子房だけに虫が入っていたのかと思い、別の子房も観ましたが、すべての子房に同じ虫が確認できました。

120 年に一度しか結実しない植物の子房を狙って、集団で生息する虫とは、一体何者でどんな生活史を持っているのか、非常に興味を持ちました。どなたか正体や論文をご存知の方、是非ご教授ください。

(2023 年 12 月下旬／お茶の水女子大学子ども園内)

